

エアヒータを導入した事業者対象

アイドリングストップ支援機器(エアヒータ)の導入効果等に関する調査

公益社団法人全日本トラック協会

(公社)全日本トラック協会及び各都道府県トラック協会では、環境対策の一環として、エアヒータの助成事業を実施しています。

また、この一環として、平成25年度にこの制度を活用し、エアヒータを導入された事業者の方々に対して、導入効果等について調査し、さらなる普及方策や助成制度の検討等に活用することとしています。

つきましては、本調査にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

各質問項目の該当する箇所にチェック(✓)をつけ、必要事項を[]にご記入ください。

調査票は、所属の都道府県トラック協会に FAX または電子メールにてお送りください。

記入日：平成____年____月____日

◆貴事業所の情報◆

- ①会社名 _____
- ②事業所名 _____
- ③保有車両数 _____台 (うち当該事業所_____台)
- ④回答者の所属及び氏名 _____(任意)
- ⑤電話番号 _____ - _____(任意)
- ⑥電子メールアドレス _____@_____ (任意)

本調査で得た情報は、機器の普及、助成制度の検討及び環境対策の推進のために活用します。また、回答結果は統計処理し、公表することがあります。

◆調査内容に関するお問い合わせ先：公益社団法人全日本トラック協会
交通・環境部 (電話) 03-5323-7243

◆調査票の送付先：一般社団法人三重県トラック協会 総務部
E-mail：soumu@santokyo.or.jp
FAX：059-225-2095

◆導入したエアヒータについて◆

Q1. 現在ご使用のエアヒータの導入状況等について

■ エアヒータ ■

事業所全体の導入状況

導入機器台数 _____ 台

導入時期（最初） _____ 年 _____ 月

全車に導入

一部車両に導入

今回（平成25年度）の導入

メーカー名 _____ 製品名〔型式〕 _____

事業所として初めて [_____ 台]

追加導入 [_____ 台]

代替導入 [_____ 台]

導入目的/理由（該当するもの全て選択）

燃費改善（省エネ）

燃料経費節減

運転者の労働環境改善

アイドリング時の周辺環境への配慮（騒音、排出ガス低減）

荷主等からの要請

会社のイメージアップ

助成制度が活用できる

その他

[_____]

Q2. 現在ご使用しているエアヒータの活用状況及び効果について

■ 活用状況（該当するもの全て選択） ■

十分に利用している

状況に応じて利用している

ほとんど利用していない [その理由： _____]

その他

[_____]

■ エアヒータの導入効果 ■

アイドリングストップの効果

- 十分に効果がある
- 期待したほどの効果が無い
- 効果が無い

(使用期間中の) 1日あたり平均使用時間 約 _____ 時間

1日1台あたりのアイドリング時間の変化

機器導入前：約 _____ 時間 ⇒ 機器導入後：約 _____ 時間

その他の効果 (具体的に)

[_____]

Q3. 現在ご使用しているエアヒータの問題点について。

■ 製品・使用上の問題点 (該当するもの全て選択) ■

- 暖まるまで時間がかかる
- 十分に暖まらない
- 故障・不具合が多い
- [具体的内容： _____]
- 燃料消費量が多い (燃費が悪い)
- 導入価格が高い
- 乾燥等、室内環境が悪化する
- 運転音が気になる
- 温度調節が難しい
- バッテリートラブルが発生
- 修理等の販売店のフォローが不十分
- その他 (具体的に)

[_____]

Q4. 助成制度への要望、あるいはアイドリングストップ遂行のための現在のエアヒータへの改善要望、今後開発・販売が期待される機能などについて、自由にご記入ください。

(例：もっと低価格な機器, 小さな機器 など)

[]

◆「アイドリングストップ支援機器導入促進助成事業」で機器を搭載している車両について◆

①運行形態（主な導入機器搭載車両を年間平均した場合のおおよその比率で結構です。）

- ・長距離輸送 _____割
- ・地場輸送 _____割

②運転者

- ・固定制（車両に対して担当運転者が決まっている） _____割
- ・交替制（ _____ 決まっていない） _____割

ご協力ありがとうございました。